

特別番組

上野 由岐子
12年の軌跡

～告白・知られざる葛藤と覚悟～

放送決定のお知らせ

この度、日本BS放送株式会社（代表取締役社長 兼 COO 小野寺 徹、本社：東京都千代田区 以下、BS11）は、特別番組「上野由岐子 12年の軌跡～告白 知られざる葛藤と覚悟～」を8月30日（日）夜7時より放送します。

番組では、北京五輪で日本女子ソフトボールを金メダルへと導いた上野由岐子投手に密着。

感染対策を充分に行いながら、番組独占で、対面のインタビューを実施しました。上野投手から語られたのは、「日の丸を背負うことに、むしろ魅力を感じなかった」（実際の言葉）。北京以降、世間に見せなかった苦悩や葛藤の告白がありました。さらに、恩師でソフトボール女子日本代表の宇津木麗華監督やビックカメラ高崎のチームメート、かつてチームでバッテリーを組んでおり、北京そして現在も日本代表の峰幸代捕手、そして最大のライバルであるアメリカ代表のモニカ・アボット投手もゲスト出演していただき、上野投手の12年に迫ります。是非、ご覧ください。

放送概要

●放送日時

8月30日（日）夜7時00分～7時54分

●出演者

上野由岐子（ビックカメラ高崎 BEE QUEEN）

ナレーション：逢坂良太

●ゲスト出演者

我妻悠香、濱村ゆかり、勝股美咲（ビックカメラ高崎 BEE QUEEN）、

モニカ・アボット、峰幸代（トヨタ自動車レッドテリアーズ）、

宇津木麗華（ソフトボール女子日本代表監督）

●番組内容

北京オリンピックで生まれた、1つの伝説「上野の413球」から12年、今も日本女子ソフトボールのエースとして君臨する鉄腕・上野由岐子。輝かしい成績を収め栄光を手にしたが北京以降、五輪からソフトボール競技の除外が決まっていたこともあり、その情熱は消えかかっていた。

「やり切った感が大きかった」「何の為にソフトボールをしているのかわからない」抱え続ける葛藤や苦悩。

そんな中、2016年に東京五輪での競技復活が決定。なおも葛藤し続けていた上野投手は、なぜソフトボールを続けようと思ったのでしょうか。また覚悟を決めたきっかけとは…？そして、東京五輪が新型コロナウイルスの影響で1年後に延期が決まった今、何を思い、どんな未来を見据えているのでしょうか。

番組では、本人のインタビューに加え、恩師であるソフトボール女子日本代表の宇津木麗華監督やビックカメラ高崎のチームメート、かつてチームでバッテリーを組んでおり北京、そして現在も日本代表の峰幸代捕手、そして五輪での金メダルや日本女子ソフトボールリーグで優勝を目指す上での最大のライバル・アメリカ代表のモニカ・アボット投手らの証言を交え、上野投手の12年を浮き彫りにします。

番組WEBサイト <https://www.bs11.jp/sports/ueno-yukiko-12>